

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年2月26日（水）

2 確認箇所

高台凍土壁プラントエリア

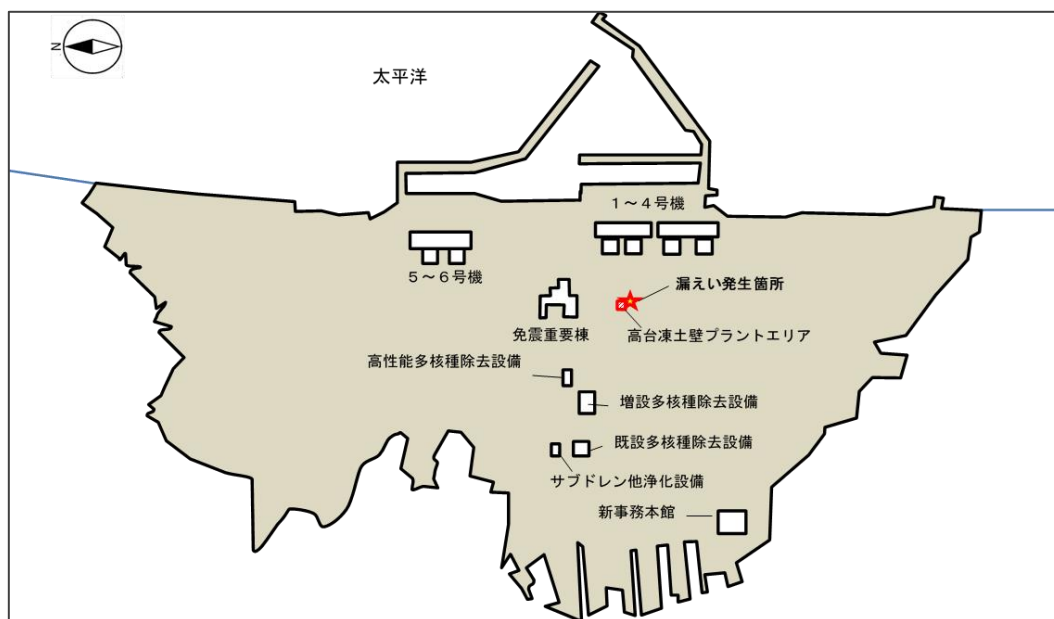
3 確認項目

陸側遮水壁ブライントーク周辺でのブライン漏えい事象

4 確認結果の概要

陸側遮水壁ブライントーク周囲（図1）の状況確認を行っていたところ、当該タンク付近に仮置きされていたローリータンク下部から液体が漏えいしていることを発見した。事象概要は以下のとおり。

- ・10時56分に陸側遮水壁ブライントーク脇に仮置きされていたローリータンク下部から1秒に2滴程度の液体の漏えいを確認した。東京電力に事象を電話連絡するとともに、滴下した液体を受けるためのポリビンを設置した。（写真1）
- ・11時00分に東京電力から連絡を受けた作業員がローリータンク下部の閉止キャップを増し締めし、漏えいが停止した。
- ・東京電力によると、ローリータンクにはブライントークから抜き取ったブライントークを一時的に保管していたとのことであった。なお、ブライントークは塩化カルシウム水溶液（30%）であり、放射性物質は含まれていない。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
漏えいがあったローリータンク周囲
の状況



(写真1-2)
ローリータンク下部の拡大写真



(写真1-3)
ポリビン設置後の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。